

施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策	3	産業・雇用
主要施策名	16	雇用対策
5年後の まちの姿	○進学でまちを離れた若者を中心とした幅広い人が、安定した収入ややりがいが見られる職場を見つけることができるまちになっています。	
施策展開の 基本的な考え方	行政は、市民の生活の安定のため就業機会の拡大と企業誘致等を通じた雇用の促進を図ります。 市民等は、市内企業の業務内容を理解し、その魅力に気付くとともに、市内の就業機運を醸成します。また、企業側では積極的な情報発信やインターンシップの受入れに努めます。	
実現に向けた 取組	①地域雇用・域内還流の促進 ②人材の育成・確保	
施策担当課	商工観光課	
施策関係課・係	-	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	220	1,413			
事務事業数	1	2			
うち、事務事業評価対象	1	1			

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度 最終目標
就業者のうち市内で就業している市民（15歳から64歳）の割合	%	61.4	65.7	-				64.9
事業者が行う人材育成のための支援の利用数〔年間〕	件	3	19	8				5
雇用促進施策による市内企業就職者数〔年間〕	人	0	6	2				2
成果指標による 現状分析	就業者のうち市内で就業している市民（15歳から64歳）の割合については、5年に1度の調査のため、令和5年度の実績は不明。次回は令和7年度に実施される。 事業者が行う人材育成のための支援の利用数〔年間〕については、実績は令和4年度に比べ1/2以下となったが、年度目標数値は達成した。その年度によって事業者が計画している事業は増減する。 雇用促進施策による市内企業就職者数〔年間〕については、中小企業等支援事業の「はたらく支援」として市外から転入し就職した方への支援を行っており2名が活用した。							

3 施策の進捗状況

達成度	○ 概ね順調
評価の理由	◆人材育成のための支援として、社内研修会や技能講習会等に係る経費に対して補助金を交付し、人材育成の推進を図った。また、就労支援及び人材確保につながる取組として、例年実施している市内企業見学バスツアーのほか、新たにオンラインによる企業説明会を開催した。成果指標の達成状況は、前年比よりもやや劣るものの、最終目標の達成に向けて、概ね順調に推移していると判断した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 地域雇用・域内還流の促進

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の雇用の安定に向けて、ハローワークや商工業関係者、その他関係機関等と連携した求人・求職情報の収集や提供、相談事業や就業支援を継続して実施します。 ・雇用促進奨励金制度等の活用や市内企業との連携により地域内での雇用の拡大を促進しながら、企業説明会や市内企業見学ツアー、インターンシップ等による市内企業とUJIターン者を含む求職者をつなげる取組の拡充を図ります。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆新発田広域圏でのインターンシップ事業について、市内の参加企業を増やすため、継続して情報発信を行った。 ◆8月に企業見学バスツアー（参加企業7社、参加者21人）を、11月にオンライン企業説明会（参加企業8社、参加者6人）を開催し、就労支援及び人材確保につながる取組を行った。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆インターンシップに関する企業向けの情報発信を継続していく。 ◆新卒予定者の参加動向や企業の要望から、適切な時期に企業説明会や見学会を開催できるよう調整する。

② 人材の育成・確保

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> ・各種教育機関や市内企業等と連携してキャリア教育を強化することで、早期からのキャリア形成に向けた学習意識の醸成や市内企業の魅力のPRを図ります。 ・ハローワークと連携した職業訓練の実施や地域若者サポートステーションとの連携を通じた就業に必要なスキルの習得を支援するとともに、妊娠・出産等で離職した女性や定年退職した方等の再雇用の促進に向けての取組や市内企業等への働きかけの強化を図ります。 ・市内事業者が経営発展のために参加、又は実施する研修等への支援を継続していきます。
これまでの主な取組と実績
<ul style="list-style-type: none"> ◆新発田広域圏でのインターンシップ事業について、市内の参加企業を増やすため、継続して情報発信を行った。【再掲】 ◆女性の再就職向け企業説明会を市内事業者に向けて情報提供を行った。なお、育児や介護休業の普及啓発、従業員が休暇をとりやすく、働きやすい職場環境の整備を促すため、ハッピー・パートナー企業の周知に努めた。令和4年度までの登録企業は12社だったが、令和5年度には21社に増加した。 ◆中小企業等支援事業補助金のメニュー（育てる支援事業）として、研修会の参加や実施に対する経費の補助を行っている。令和5年度は6件活用した。
主な課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆学生の学習意識の醸成や市内企業の魅力を知ってもらうため、インターンシップ事業への参加を継続して推進する。 ◆ハローワークや県と連携して市内企業への働きかけを強化する。 ◆事業者の経営発展のため、参加又は実施する研修等への支援を継続する。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> ◆市内の雇用確保のため、UJIターンを推進するとともに、企業と就職希望者とのマッチングを図る機会を充実させる。また、学生のキャリア形成に向けた学習意識の醸成や市内企業の魅力を知ってもらうため、インターンシップ事業への参加を継続して推進する。

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R5 事業費		R6 当初予算額		達成度	今後の 方向性	担当課
			うち 一般財源		うち 一般財源			
340110	労働費関連事業	1,305	1,305	698	698	×	②	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和5年度事業）

事業コード	340110		担当課	商工観光課		担当係	商工振興係		担当者	
事務事業名	労働費関連事業		事業年度	令和5年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	大	34	雇用対策	予算科目	款	05	労働費	
主要施策	16	雇用対策	中	01	地域雇用・域内還流の促進		項	01	労働諸費	
			小	10	労働費関連事業		目	01	労働諸費	
事務区分	法定受託事務		自治事務		○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意			関連法規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内事業者の雇用安定化のため、求職者確保を推進する。
主な実施内容	・企業見学バスツアー ・オンライン企業説明会
実施方法	市が直接実施+委託+補助・負担

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△	×			
評価の理由	バスツアー1回 8月21日・22日 参加者21人 オンライン企業説明会 10月14日 参加企業 8社 参加者 6名				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

企業の意見を元にオンライン企業説明会を開催したが、参加者は6名のみだった。参加者からのアンケート調査によると、説明会自体は良いものであったことが伺える。一方で、参加者1人当たりに対する事業費が高額だったことから、さらなる支援策を検討していきたい。

2 事業費の状況（令和5年度以前は実績値、令和6年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	220	1,305	698			
国・県支出金	0	0	0			
地方債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	220	1,305	698	0	0	
人件費（千円）	146	146	0	0	0	
正(h) ※事務費	78	78	0	0	0	
委任(h) ※事務費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	366	1,451	698	0	0	
財源「その他」内訳						
事業費の主な支出内容	印刷製本費 220千円、手数料 74千円、インターシッ プ委託料 61千円、通信運搬費 37千円、消耗品費 15千 円、オンライン説明会運営委託料 998千円					
単位コスト	算出方法	・企業見学バスツアー 総事業費÷参加者=参加者1人当たりの経費				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		81千円	41千円			

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	企業と連携して実施していくことが有効な部分については、協働を検討していく。また、行政から企業に働きかけるだけではなく、企業側からの意見を吸い上げ政策に反映していきたい。

7 事業の課題

オンライン企業説明会を実施したが、集客に課題を残した。また、実際に企業説明会等に参加してもその後につながっていない現状がある。

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	企業見学ツアー開催数	会社説明会等開催数	会社説明会等開催数	会社説明会等開催数
	目標	2回	2回	2回	2回
	実績	1回	2回		
成果指標	名称	企業見学ツアー参加者数	会社説明会等参加者のうち、市内企業就職者数	会社説明会等参加者のうち、市内企業就職者数	会社説明会等参加者のうち、市内企業就職者数
	目標	30人	2人	2人	2人
	実績	23人	0人		
	目標比	77%	0%		

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②	②			
・企業側だけではなく、どのような企業に就職したいのか、どんな内容の説明会だったら参加したくなるのか求職者側の意見も参考にする。					

9 二次評価委員会所見

説明会の日どり、周知方法について検討のこと、指標の見直し検討のこと。

今後の方向性					
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					